

ほっかり いっぱい みさきっ子



御前崎市立御前崎小学校 学校だより 平成29年度 4月号

1年生36名を迎え 全校児童228名 平成29年度がスタート

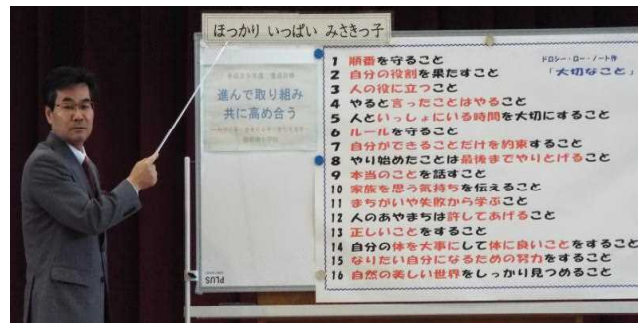
- ◇学校教育目標 「ほっかり いっぱい みさきっ子」 (平成25年制定)
- ◇重点目標 「進んで取り組み 共に高め合う」 (2年目の取り組み)
～みがかく子・ささえる子・きたえる子～ (めざす子どもの姿)

「ほっかり」が御前崎小学校の合い言葉になって、10年以上が経ちます。平成25年度から「ほっかり いっぱい みさきっ子」として学校教育目標となりました。

「人・もの・こと」と関わり合うよさを感じ、互いのよさに気づき、共に伸びようとする温かい心を育む教育を進めます。

学校教育目標を実現するために重点目標があります。子どもが自分の目標をもち、自ら進んで(主体的に)取り組むことによって、子どもの力をさらに高めていきたいと考えます。そして、子どもが互いに切磋琢磨して集団としてさらに成長する姿を求めたいと考えます。そのための「みさきっ子」の具体的な子どもの姿が「みがかく子・ささえる子・きたえる子」です。

4月7日始業式に「みさきっ子」としてこんなことを大切にしてほしいと、ドロシー・ロー・ノルト氏の詩を紹介しました。



「大切なこと」

ドロシー・ロー・ノルト作

- 1 順番を守ること
- 2 自分の役割を果たすこと
- 3 人の役に立つこと
- 4 やると言ったことはやること
- 5 人と一緒にいる時間を大切にすること
- 6 ルールを守ること
- 7 自分ができるところだけを約束すること
- 8 やり始めたことは最後までやりとげること
- 9 本当のことを話すこと
- 10 家族を思う気持ちを伝えること
- 11 間違いや失敗から学ぶこと
- 12 人の過ちは許してあげること
- 13 正しいことをすること
- 14 自分の体を大事にして体に良いことをすること
- 15 なりたい自分になるための努力をすること
- 16 自然の美しい世界をしっかりと見つめること

ノルト氏(2005年没)は、親子関係や家族関係について研究したアメリカの教育学者です。

著書『子どもが育つ魔法の言葉』(1998年刊行)は、22カ国語に翻訳されミリオンセラーとなりました。「子は親の鏡」の詩は有名になりました。

この「大切なこと」は、ノルト氏の著書「いちばん大切なこと」の中にある16項目です。人が生活する中で、生きていく上で、大切なことをこの詩を通して、子どもたちに伝えました。

この詩にあるように生きていけば、豊かな人生に、

そして世の中がうまくいくと思います。いかがですか。(文責 校長:植田)